

青春映画がまもなくクラクイン

オール敦賀ロケの『弥生の虹』

敦賀のどかな風景と雪景色を舞台にした自主製作映画『SNOW GIRL』の上映から2年。日本映画大学(神奈川県川崎市)4年生の山下さんが再び敦賀を舞台にした映画『弥生の虹』(仮題)のメガホンを取る。

「前は大学2年で20歳の爪痕を残そうと撮った作品。今回は学生4年間の集大成ということでさらに力が入っています。前作以上に敦賀の景色をたくさん取り入れたいです」

『弥生の虹』は「悔いのない人生を生きる」をテーマに、廃校が決まった高校で最後の卒業式を前に奮闘する生徒会役員らの青春ドラマ。主役の生徒会長長良太が思いを寄せる女の子亜里沙役に敦賀気比高2年の演頭優さんを起用するなど話題性もたっぷり。

山下さんは小学生のとき敦賀こどもミュージカルに出演し舞台の楽しさを知った。同時に美術や演出にも興味を

持つようになるが、そのきっかけは当時の彼を優しく演技指導した坂本久美子さんだった。「いつも笑顔で夢を語る先生の生き方に大きな影響を受けました。先生との出会いがなかったら僕は映画の道を行っていただけたかもしれせん」と山下さん。

2011年4月、「将来は映画監督になる」という強い決意を抱いて開学したばかりの日本映画大学に入学。大学2年の冬、「20歳のうちに自分の監督作を撮っておきたい」という強い思いで『SNOW GIRL』を自主製作。今回の『弥生の虹』も日本映画大学の学生有志など10人ほどの制作チームで撮影に臨むが、「前作から2年を経て皆少しずつ成長を遂げています。それを作品で実証したいという思いもあります。脚本も推敲を重ね、第2作目に相応しい形に仕上がりました」と山下さん。

映画『弥生の虹』は2月25日にクラクイン、3月8日にクラクインアップを目指す。その後編集・仕上げ作業に1か月かけ、夏ごろに東京や地元敦賀で完成披露試写会を予定。今回はオール敦賀ロケで前作に比べるとエキストラ出演やボランティアスタッフの参加人数も増え、地元の盛り上がりにも期待ができる。「映画の中で主人公たちが閉校記念のビデオレターを撮りますが、そこには敦賀の皆さんにもたくさん登場していただきたいなと思っています。脚本として書かれた台詞を読むのではなく、ご自身の高校時代の思い出などをありのままに語っていただけたらきっと素敵なビデオレターになるのではないかと思います。映画本編とは別にビデオレターも作品として仕上げるつもりです」

敦賀に住んでいるときから「敦賀が大好きだった」という山下さん。だからこそ「大好きな敦賀で映画を撮って、敦賀の良さを全国にPRしていきたい」と目を輝かせる。

今月のTSURUGAJIN

Vol.05



再び敦賀を舞台にした映画のメガホンを取る敦賀出身の大学生映画監督

山下大裕



山下 大裕

やました だいすけ
1992年6月9日生まれ。福井県敦賀市出身。敦賀高校を経て、現在日本映画大学映画学部4年脚本演出コースに在籍中。映画製作団体DYC主宰。一昨年の冬、敦賀を舞台にした映画『SNOWGIRL』を初監督。学業の傍ら商業映画の現場にも参加している。

▲映画制作に賛同・協賛する個人や団体、エキストラ、ボランティアスタッフを募っています。問い合わせは山下さん(080-1965-8679) mail:eigadaisuke@gmail.com http://www.eigadaisuke.com



▲前作では冬の松原でロケが行われた



▲吹雪の中でも余念がない画面チェック



▲『SNOWGIRL』出演者やスタッフらと